

令和2年度事業所における自己評価表(公表)

ちくしのスマイルキッズ

公表：令和 3年 1月 15日

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所全体で自己評価を実施しました。

事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の当会及び事業所の運営に活かしていきます。

今後ともご家族と共にによりより事業所を目指していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力いただきますよう、お願いいたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		法令遵守しています。	
	② 職員の配置数は適切である。	○		法令遵守しています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている。	○		施設がバリアフリー施設となります。お子さんそれぞれが分かりやすいように環境設定を行っています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		毎日職員による清掃を行い、整理整頓に心がけています。計画的に業者による消毒なども実施しています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	○		毎月計画的に職員が集まってケース会議を実施し、目標設定と振り返りを行い、対応の統一化を図っています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		年1回、保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表している。	○		アンケート集計結果、事業所の自己評価を年1回ホームページで公表しています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		第三者による外部評価は実施していません。必要に応じて検討していきます。

	⑨	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している。	○		今年度はコロナウイルス感染症の為、外部の研修は控えています。内部での人権研修等は実施しています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		療育後は職員で振り返りを行いながら、アセスメントを適切に行い、計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用している。		○		事業所での検査は実施していません。外部で受けた検査等(保護者許可のもと)をいただき、状況把握を行っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		支援計画を職員同士確認しながら支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		ミーティングを行い、さまざまな経験ができるよう、保育士、作業療法士と協議しながらプログラムを設定しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○		週単位でプログラムを設定し、固定化しないように工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成している。	○		状況に応じて活動を設定しています。集団活動が中心です。集団の中で個別的配慮を行い、活動を実施しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○		活動の前に、職員間で支援内容や役割分担を確認しています。	
適切な支援の提供						

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	○		活動終了後には、ミーティングを行い、支援の振り返りを行い、情報を共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○		毎回、支援記録を作成し、いつでも振り返りができるようにしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○		日頃より職員間で意見交換を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		日頃の療育に関わっている職員が参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○		市の療育相談室などと必要に応じて連携し、支援を行っています。	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		必要に応じて、保護者の同意のもと情報交換をおこなっています。	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		必要に応じて、保護者の同意のもと情報交換をおこなっています。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		必要に応じて、保護者の同意のもと情報交換をおこなっています。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。		○		保育所や幼稚園との併用利用児が多く、現在は実施していません。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。		○		現在参加はしていません。今後必要に応じて検討していきます。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○		親子通園の為、療育前、療育後に保護者と情報交換を行い、共通理解を持てるようにしています。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。		○		ペアレント・トレーニングは実施していませんが、親子通園の為、療育の際に情報交換やアドバイスなどを行っています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		契約時に重要事項説明書等を使い、できるだけわかりやすく説明するよう努めています。	
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	○		支援計画については説明を行い、同意を得て計画書をもとに支援しています。	
	㉔	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		親子通園の為、随時悩み等の相談を受け支援しています。	
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。		○		療育の前後、また療育中と保護者同士でつながりやすい雰囲気作りに心がけています。現在、父母の会、保護者会はありませんがアンケート等要望が多くあがってきた際は検討していきたいと思います。
	㉖	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		相談等受けた際は、迅速に対応するよう心がけています。また相談しやすいような関係性を築いていけるよう努めています。	
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		毎月、事業所より便りを発行しています。	

	③⑥	個人情報の取扱いに十分注意している。	○		個人情報の取り扱いは十分注意するように努めています。契約時に個人情報使用同意書をいただき、その範囲で十分注意しながら取り扱っています。	
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○		その子に合わせて分かりやすいように配慮しています。	
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○			地域住民を招待するなどの行事は行っていません。気候の良い時は園外活動などに出かけています。また社会福祉協議会の広報誌を使い、活動内容等の周知を図っています。
非常時の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している。	○		各種マニュアルを策定し、職員間で対応を統一できるように努めています。	
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○		事業所として年間計画として年2回、防災訓練を実施しています。また年1回療育中に利用児童、保護者を含めて防災訓練を実施しています。	
	④①	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている。	○			食事が無い為、アレルギーについては、最初の面談の際に保護者の方に確認はしています。今後必要があれば医師の指示書をいただき、指示書にもとづいて対応していきます。
	④②	ヒヤリハット事例集作成して事業所内で共有している。	○		定期的にケース会議を実施し、その中でヒヤリハットを確認しています。またヒヤリハット報告書を作成し、職員で共有できるようにしています。	

④3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○		年間計画として虐待・人権研修を実施しています。	
④4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	○		身体拘束マニュアルは策定していますが、今まで身体拘束を実施したことはありません。	

*この「事業所における自己評価表」は、事業所全体で行った自己評価です。

*書式は国のガイドラインを使用しています。